

[Home](#)
[DSLlinux](#)
[TinyLinux](#)
[Project Documents](#)
[My Page](#)
 [Issues](#)
 [Risks](#)
 [Deliverables](#)
 [Tasks](#)
 [Calendar](#)
 [Project updates](#)

[Contact](#)
[Sitemap](#)

Sample Sidebar Text

This is some sample sidebar text. You may use this area to push a persistent block of text out to your team. It will appear on all pages.

Recent site activity

[UBUNTUの日本語化](#)
created by Masaru Hirano
[Rose Gardenの使用法](#)
created by Masaru Hirano
[JACK の使用法](#)
edited by Masaru Hirano
[XFCE4クラッシュの修復](#)
created by Masaru Hirano
[XP復活](#)
removed by Masaru Hirano
[View All](#)

1384
days since
Project Launch

[DSLlinux](#) >

PCのBIOS解除 (EEPROM ショート法)

posted Mar 15, 2013, 2:29 AM by Masaru Hirano

BIOSロック解除法 (BOOTロック解除)

ご注意！ 実行は自己責任のもとお願いします。また、いかなる不具合、事故等の責任は当事者の責務といたします。

1. 電源をいれながら、EEPROMの3番、6番をクリップなどでショートさせる。(他のピンにふれぬよう細心の注意を！)
2. 成功ならば、およそ10秒程度で初期化が終了、BIOS画面で「デフォルト」を促す文字が現れ、直後にBIOSが起動します。F10で保存後、電源を落とす。
3. BIOS再設定

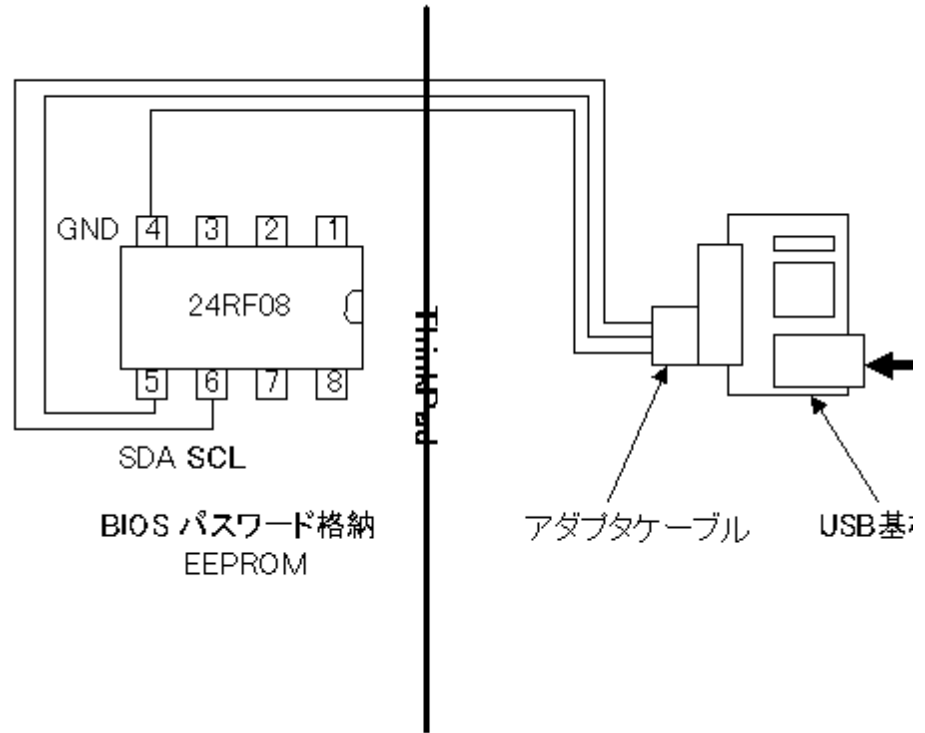
無事BIOSロックは解除できましたが、UUID値も初期化されます。(EEPROMの情報すべてが初期化されます。ジャンクなマシンなので特に必要はないと思います...)

たかだか、数十円のチップの中身がわからないために数万円のPCシステムが使えなくなるのはエコロジーとリサイクルの観点からすると納得できないものがあります。ここではThinkPadのBIOSパスワードの解読のためのシステムをご提案します。

■ BIOS パスワード

ThinkPadには数種類のパスワードが存在します。通常のパスワードはハードディスクドライブに格納されるために、ハードディスクを入れ替えて再インストールを行えば問題ありません。BIOSパスワードは本体の不揮発性メモリ (EEPROM) に格納されます。この部分がわからなくなるとシステムボードごと交換になります。

■ 概略図



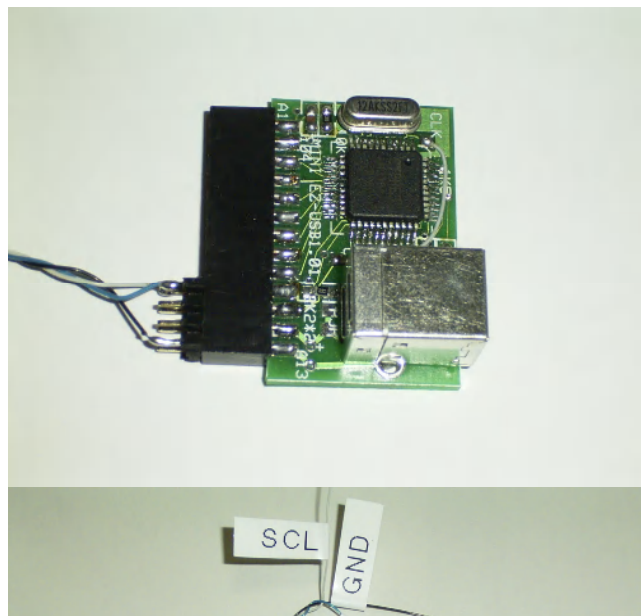
ThinkPad に内蔵されている BIOS パスワード格納 EEPROM を USB 経由で読み出すためのシステムです。

■ 対象機種

以下の機種が対象になっています。(ご要望により、他の ThinkPad に対応)

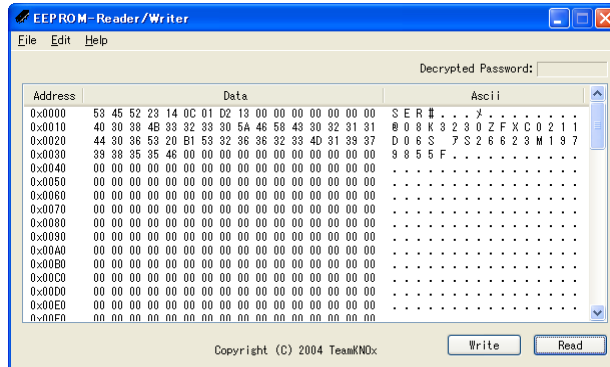
- ThinkPad X20, X21, X22, X30, R30, R32

■ ハードウェア



本機は USB を利用した EEPROM リーダーです。インターフェイスチップとして EZ-USB (AN2131SC) を用いています。USB 部分とアダプタケーブルに分かれています。

■ ソフトウェア



USB 部分の制御用ソフト (ファームウェア) と PC 側 Windows ソフトになって

います。

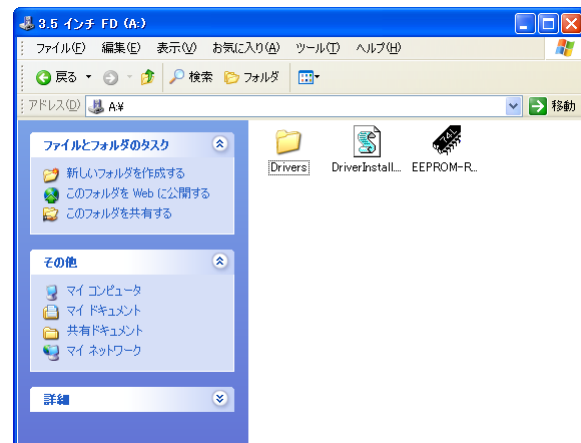
■ 動作環境

- Pentium II/400MHz 以上
- Windows 2000/XP
- USB 1.1/2.0 (ハブを経由していないこと)
- 3.5inch フロッピードライブディスク

■ 使い方

■ 準備

■ ソフトのインストール



■ ドライバのコピー

フロッピーディスク内の DriverInstall.vbs をダブルクリックします。ezusbw2k.inf は Windows2000 の場合は C:\winnt\inf に WinXP は C:\Windows\inf にコピーされます。ezusb.sys,

ezmon.sys は Windows2000 の場合は C:\winnt\system32\drivers に WinXP は C:\Windows\system32\drivers にコピーされます。

- EEPROM-Reader/Writer のインストール

任意のフォルダーにコピーすればOKです。

- USB 基板の接続

- ソフトのインストールが完了したら USB 基板を接続します。

注意:この時はアダプタケーブルは接続しないでください。

- USB 基板のドライバ設定

接続後、USB 基板のドライバ設定設定になります。ドライバの在りかを指定します。ezusbw2k.inf は Windows2000 の場合は C:\winnt\inf に WinXP は C:\Windows\inf になります。WinXP の場合は認証されたドライバではないと出てきますが、無視してそのままインストールすればOKです。

- ThinkPad の電源をOFF

ThinkPad の電源をOFFにします。

- 分解

ThinkPad を分解します。マニュアルは[ここ](#)にあります。

- 確認

EEPROM の位置を確認します。

- ハンダ付け

EEPROM とアダプタケーブルからの配線をGNDからハンダ付けします。非常に細かい作業ですので慎重に行ってください。



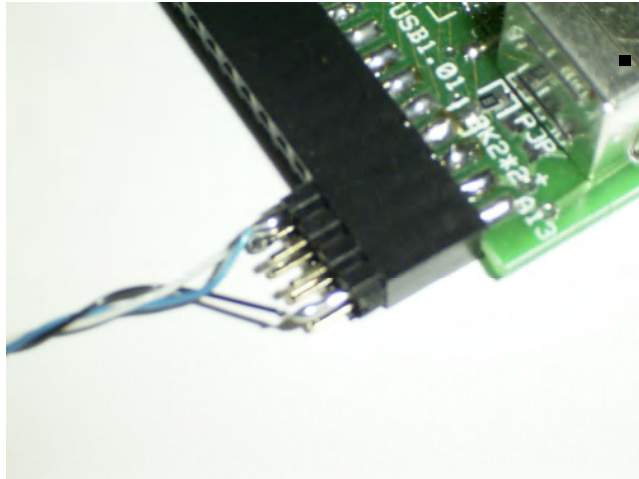


■ ThinkPad の電源をON

ThinkPad の電源をONにします。パスワードの入力画面が出るまでそのままにしておきます。

■ アダプタケーブル接続

アダプタケーブルとUSB基板を接続します。

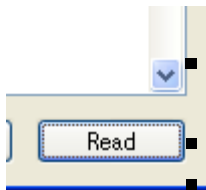


■ ソフトの起動

1. でインストールしたソフトを起動します。

■ EEPROMの読み込み

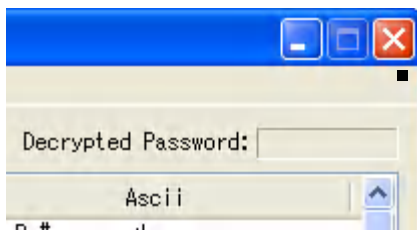
Read ボタンを押して EEPROM を読み込みます。



■ 結果の解析

■ 業者向け: パスワードが表示されます。

■ 一般向け: 結果をセーブして各自で解析します。



■ ThinkPad の電源をOFF

ThinkPad の電源をOFFにします。

■ 配線を外す

4. の配線を外します。

■ 組み立て

ThinkPad を組み立てます。

■ ThinkPad の電源をON

ThinkPad の電源をONにします。

- パスワードの入力

10 で得られた BIOS パスワードを入力します。

コメント

コメントを追加する権限がありません。